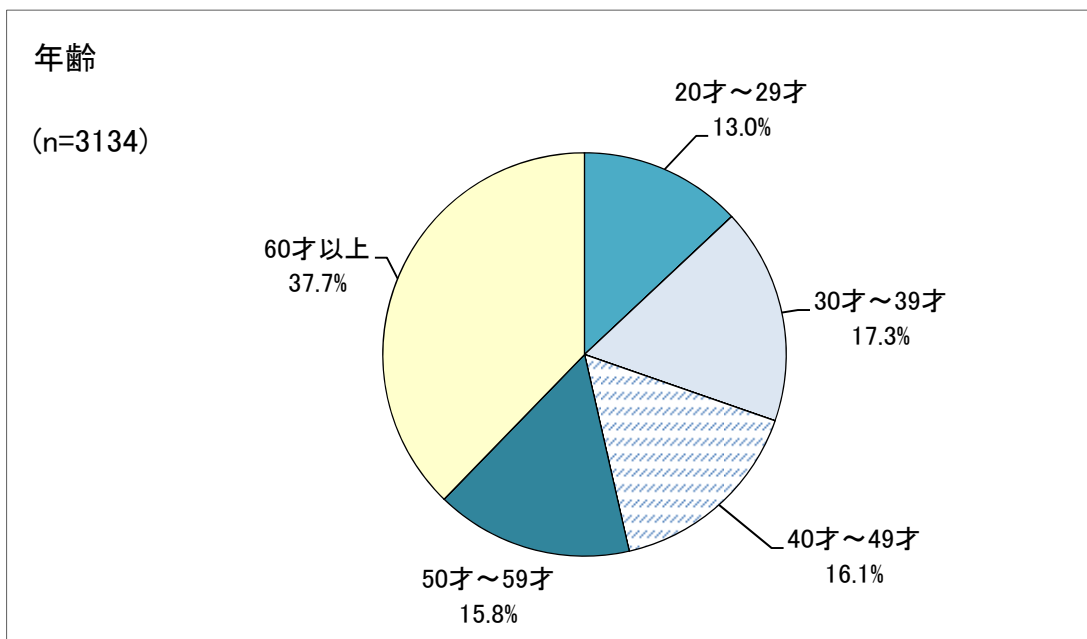
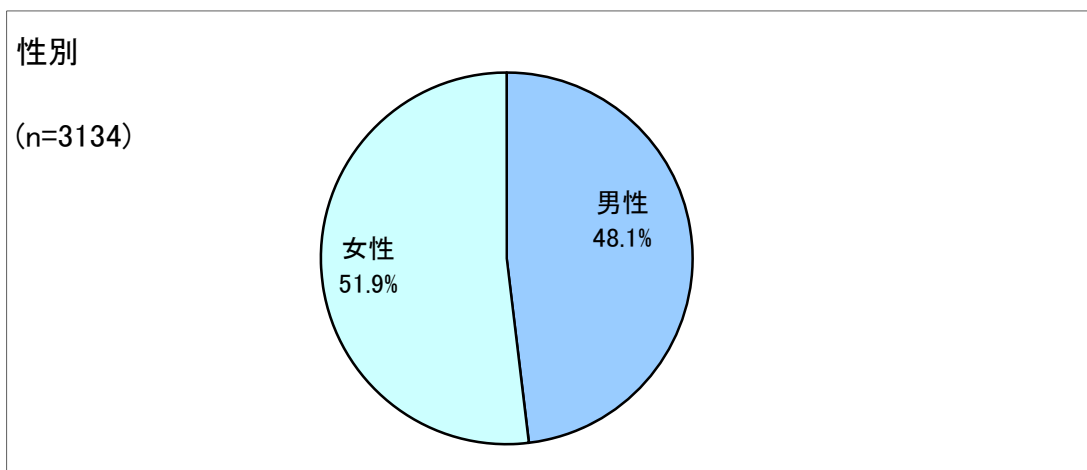


新型インフルエンザワクチンに関する意識調査（速報）

調査実施期間	2012年12月21日～2012年12月24日
調査対象	インターネット調査会社「マクロミル」社の登録モニター
調査方法	Web アンケート調査
有効回答数	3134

回答者の属性



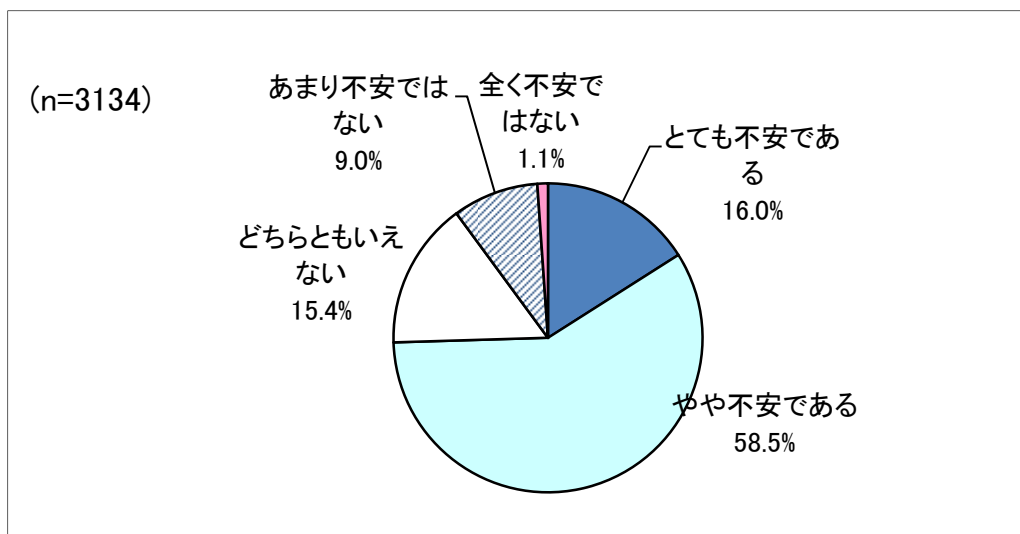
※年齢・性別は、国勢調査の人口比と同一となるよう調整を行った

地域	回答者数	%
北海道	145	4.6
東北地方	235	7.5
関東地方	1031	32.9
中部地方	571	18.2
近畿地方	506	16.1
中国地方	187	6.0
四国地方	105	3.4
九州地方	354	11.3
計	3134	100.0

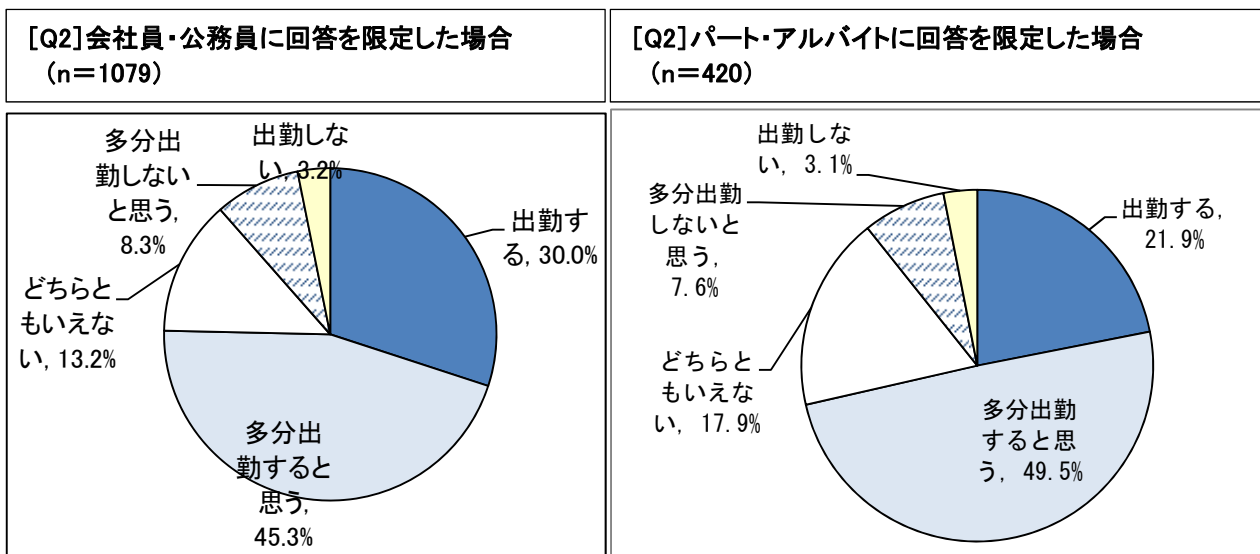
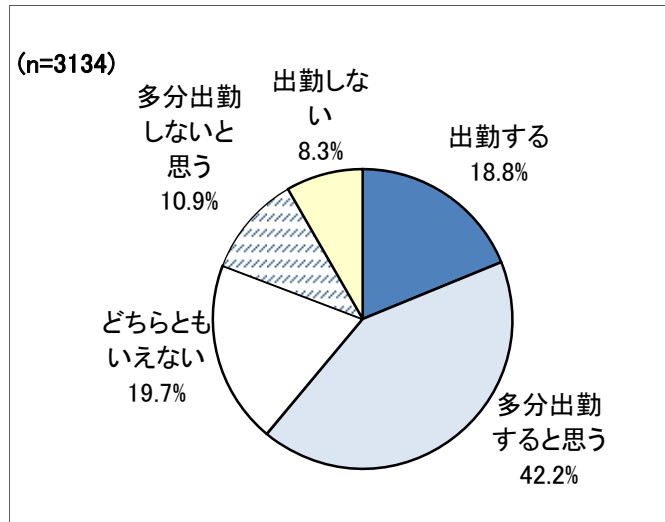
職業 単一回答	回答者数	%
会社員(管理職)	162	5.2
会社員(事務職)	288	9.2
会社員(技術・専門職)	306	9.8
会社員(その他)	196	6.3
公務員・団体職員	127	4.1
自営業	238	7.6
パート・アルバイト	420	13.4
学生	114	3.6
専業主婦(夫)	755	24.1
無職	458	14.6
その他	70	2.2
計	3134	100.0

※地域ブロックについて、国勢調査の人口比と同一となるよう調整を行った

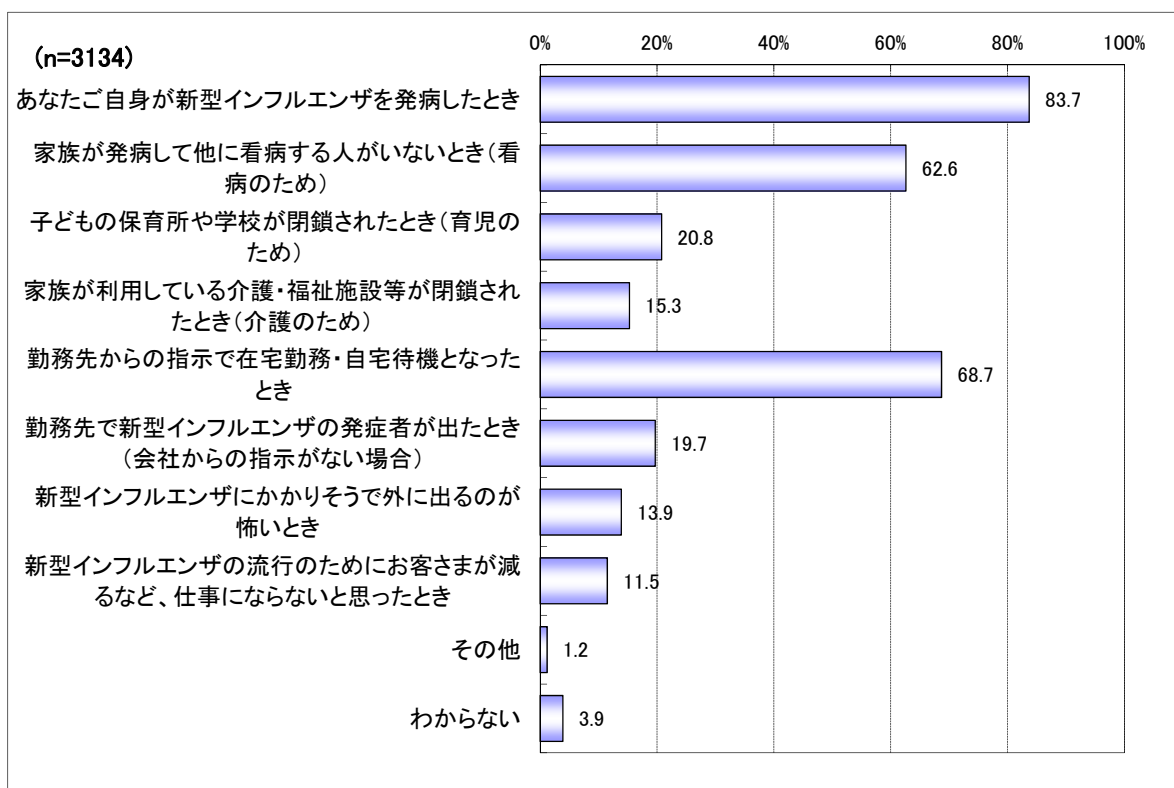
[Q1]あなたは、近い将来、重症化しやすい新型インフルエンザが発生して、世界中で大流行が発生し、大きな被害が生じることについて、不安を感じていますか。



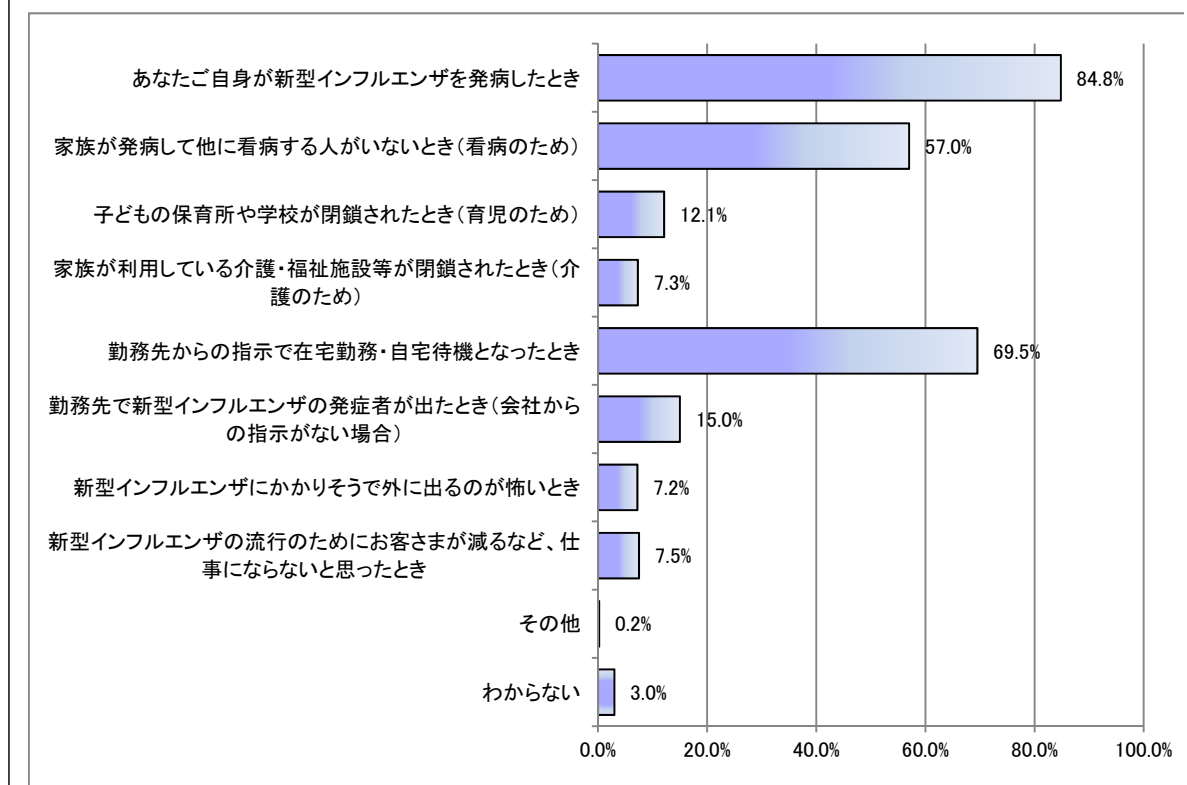
[Q2]仮に、感染したら重症化しやすい新型インフルエンザが発生し、国内で発生、まん延した場合、2か月間程度の流行期間、2週間程度のピーク期間があると想定します。この流行期間中、あなたは勤務先に出勤しますか。
 (あなたご自身が新型インフルエンザを発病しておらず、勤務先からの特別の指示がないと想定してください。現在働いていない場合は、働いている場合を想定してお答えください。)



[Q3]重症化しやすい新型インフルエンザが発生し、国内でまん延した場合、2か月間程度の流行期間が予想されています。この流行期間中、あなたが出勤しないとしたら、どのような理由ですか。（複数回答可）



[Q3]会社員に回答を限定した場合 (n=1079)

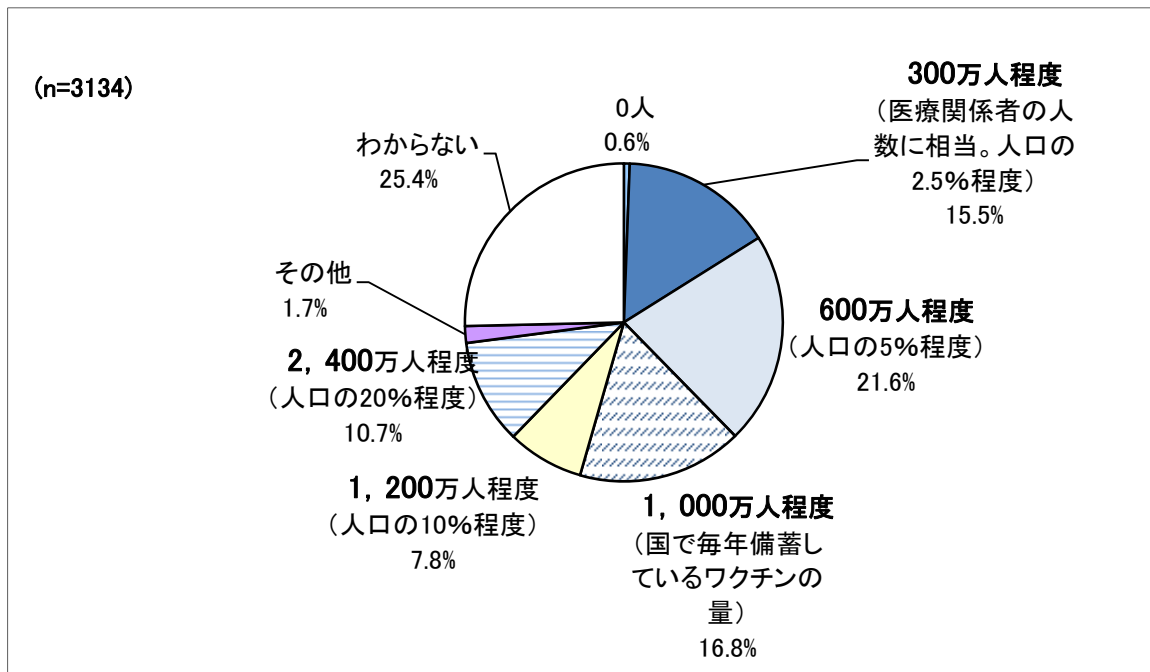


[Q4]次に示す業務に従事する方について、医療体制や国民生活を維持するために、新型コロナウイルス発生時にワクチンを一般住民より先に接種することに、賛同できますか？業務ごとにお考えに近いものをお選びください。（それぞれ1つずつ）

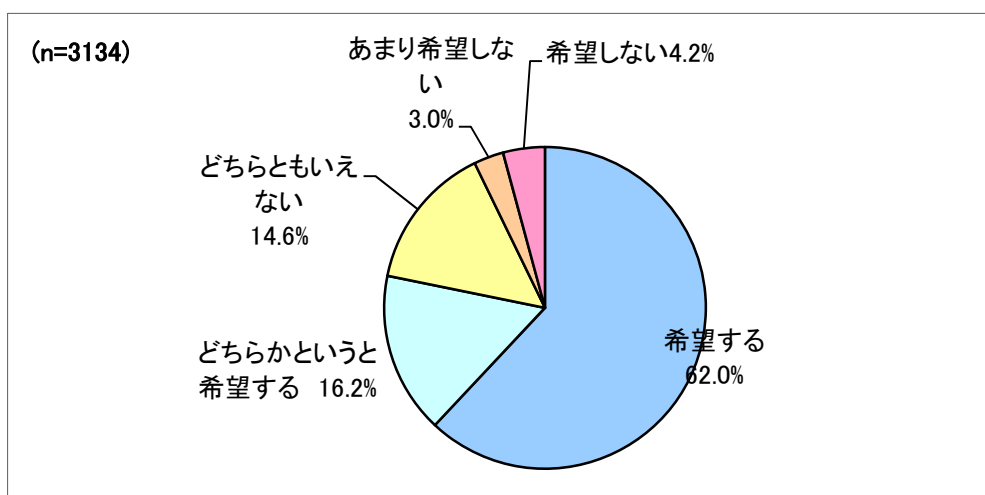


[Q6] 医療体制の維持や国民生活の安定に寄与するために、特定の職業の方に、一般住民より先に接種する場合、どの程度的人数が妥当だと思いますか。

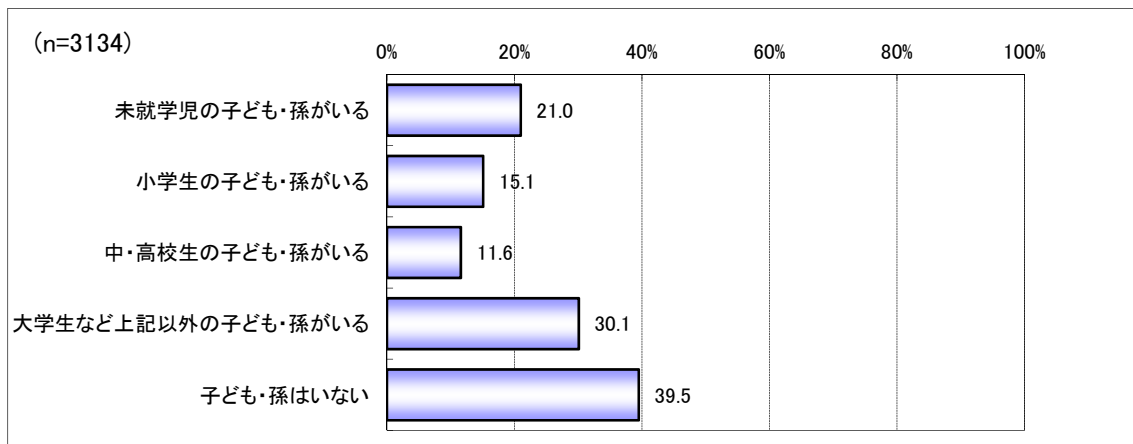
※日本人全体の人口は約1億2800万人、就業人口は約6000万人です。



[Q7] 特定接種者は、新型インフルエンザの感染が拡大している状況下でも、出勤することを事業主から求められることが想定されますが、仮に、あなたが特定接種の対象者となった場合、ワクチンの接種を希望しますか。



[Q8] あなたの現在の状況にあてはまるものをお選びください。(複数回答可)
 ※あなたご自身から見た続柄でお答えください。



[Q9] 引き続きお伺いします。あなたの現在の状況にあてはまるものをお選びください。※複数あてはまる方も、最もあてはまるものを1つお選びください。

